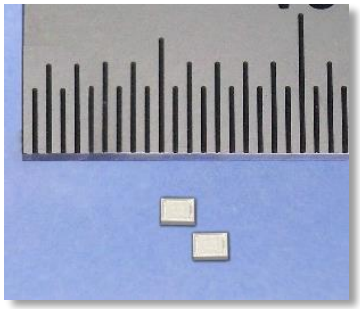
2016年３月期
決算説明会

2016年５月31日

リバーエレテック株式会社

（JASDAQ 6666）



ATカット水晶振動子

FCX-08

（1.2×1.0×0.33mm Max.）

世界最小のATカット水晶振動子
「FCX-08」（2016/5/31当社調べ）

アジェンタ

RIVER
One and Only Creator

1．2016年３月期 決算概要

執行役員総務本部長　大柴　公基

2．2017年３月期 通期業績予想
および今後の取り組みについて

代表取締役社長　若尾　富士男

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

1．2016年３月期 決算概要

執行役員総務本部長　大柴　公基

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

2016年３月期 決算概要

RIVER
One and Only Creator

（単位：百万円）

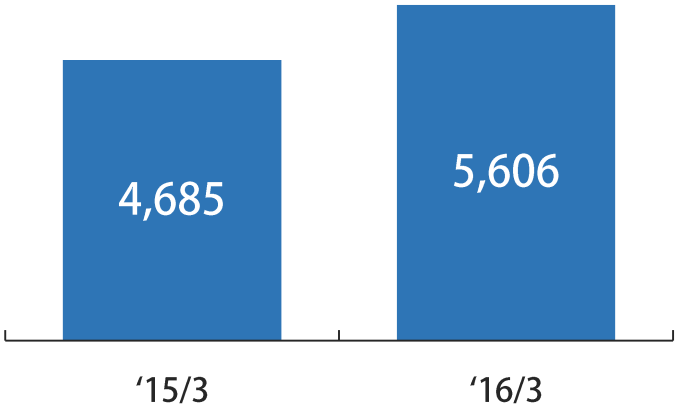
	’15/３実績	’16/３予想（’15/5/12）	’16/３実績	対前期増減額	対前期増減率
売上高	4,773	5,485	**5,709**	936	19.6%
売上原価	4,389	―	**4,478**	89	2.0%
販管費	1,161	―	**1,155**	△6	△0.6%
営業利益	△777	32	**76**	854	―
経常利益	△674	26	**62**	736	―
親会社株主に帰属する当期純利益	△661	16	**35**	697	―
EPS（1株当たり利益）	△89.77	2.19	**4.81**	94.58	―
為替レート（対USドル）	120.55円	120.00円	**120.61円**	―	―

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

セグメント情報〈水晶製品〉

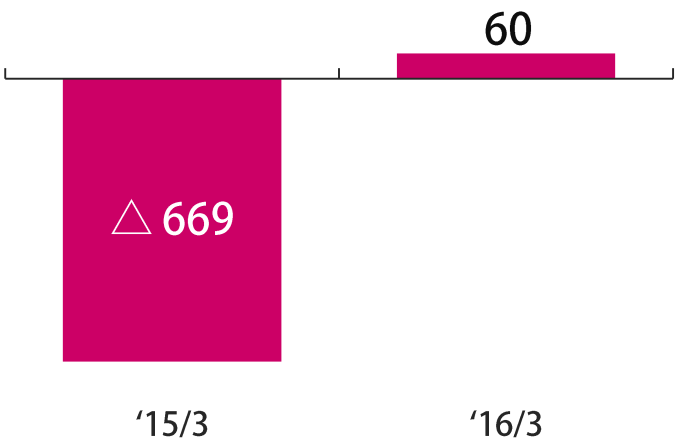
（単位：百万円）

売上高



（単位：百万円）

経常利益



	対前期　増減
売 上 高	+920百万円　（+19.7%）
経常利益	+730百万円　（－）

＜増減要因＞

➢音叉型水晶振動子の新製品投入効果により、スマートフォン向けが大幅伸長。

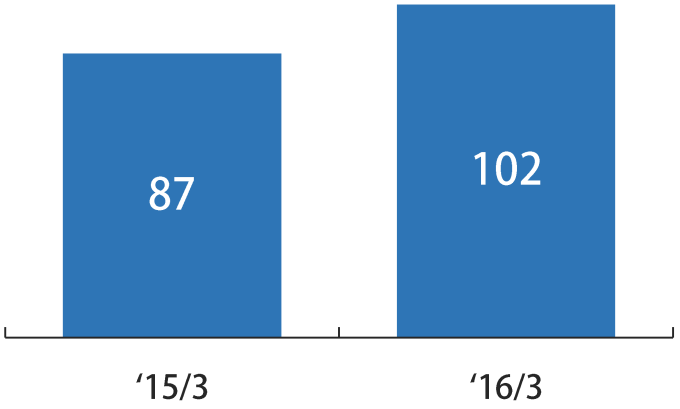
➢新商品化率アップに伴うプロダクトミックスの改善及び原価低減のほか、増収による利益押し上げ効果により利益は大幅に改善し、黒字化

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

セグメント別情報〈その他の電子部品〉

（単位：百万円）

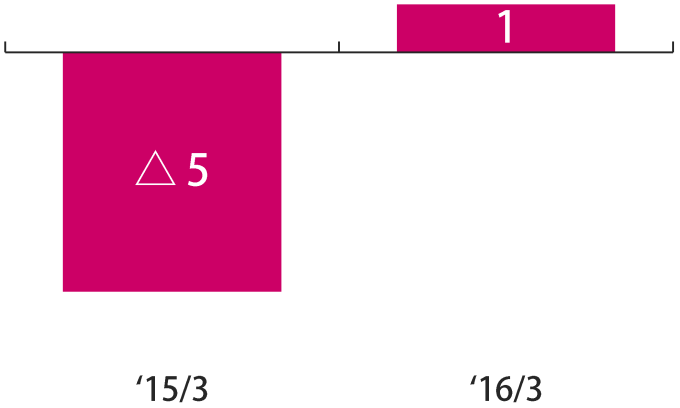
売上高



	対前期　増減
売 上 高	+15百万円　（+18.3%）
経常利益	+6百万円　（ー）

（単位：百万円）

経常利益



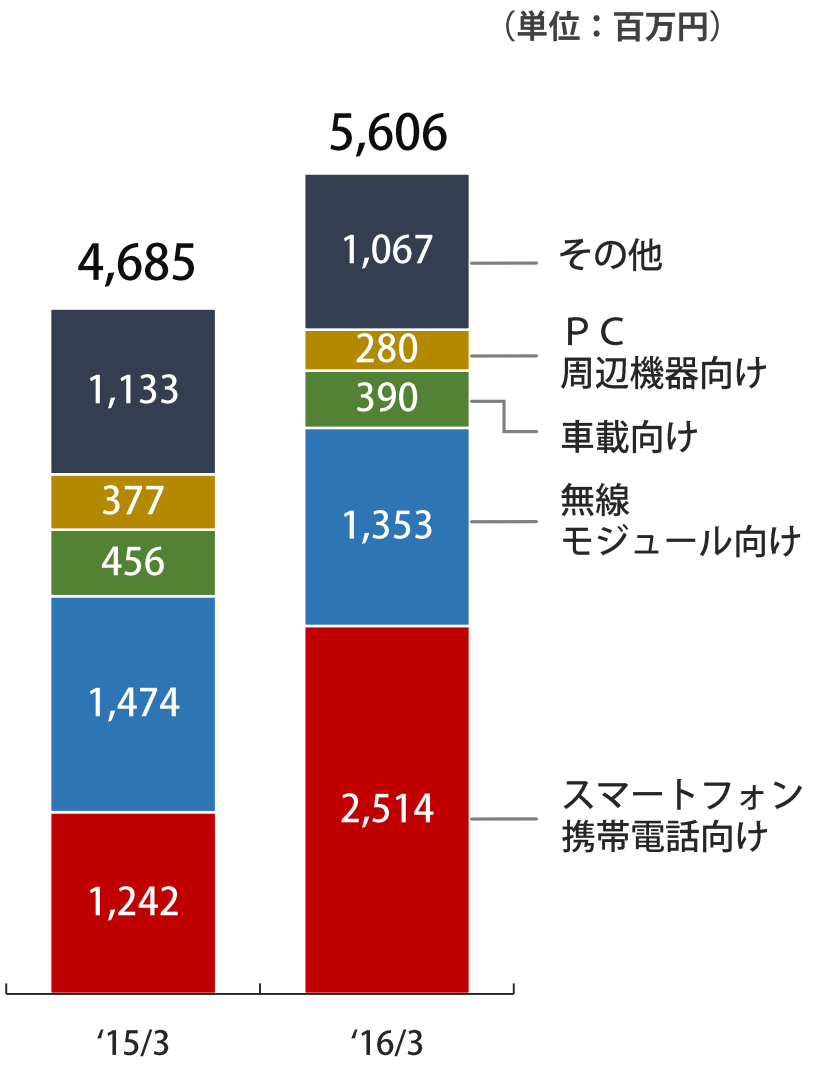
＜増減要因＞

➢車載向けが好調で売上高は増加

➢増収効果により収益率が改善

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

アプリケーション別売上高〈水晶製品〉



スマートフォン・携帯電話向け

前年同期比+1,272百万円（+102.4%）

➢ハイエンドモデルの需要が大幅に拡大

無線モジュール向け

前年同期比－121百万円（－8.2%）

➢IoT、車載向けの需要が増加したものの、スマートフォン向けの価格が下落

車載向け

前年同期比－65百万円（－14.4%）

➢キーレスエントリー向け汎用製品の受注が減少（5032サイズ）

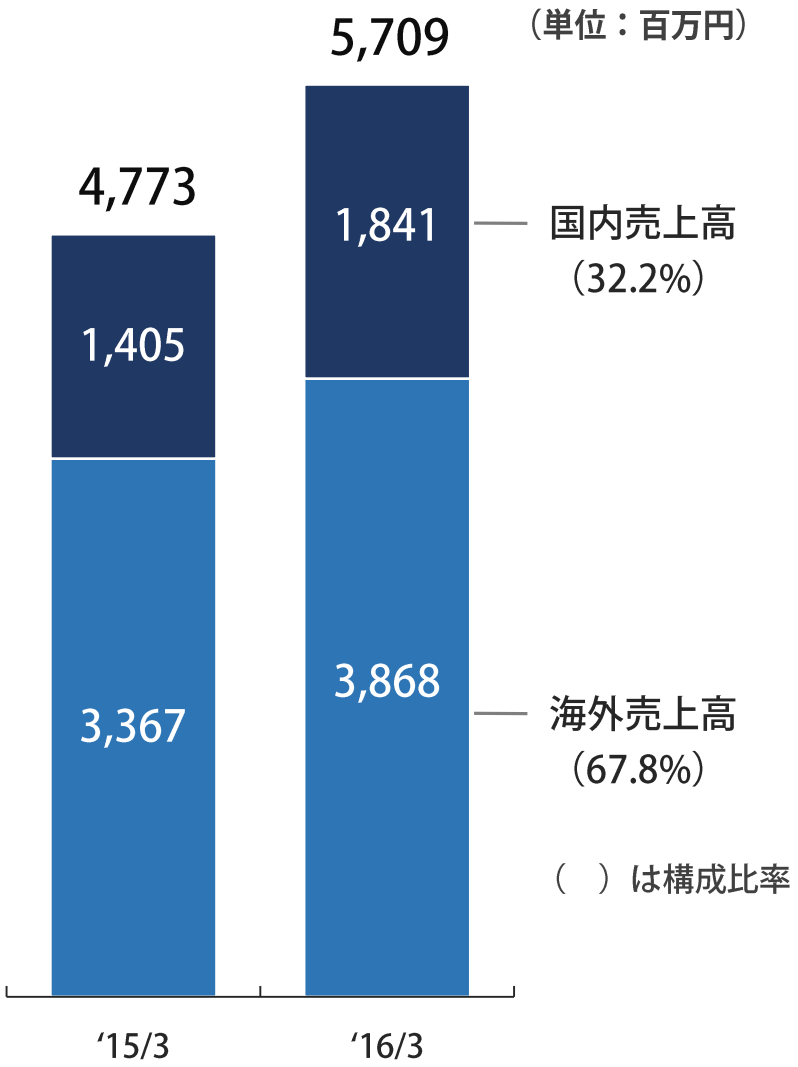
PC・周辺機器向け

前年同期比－97百万円（－25.9%）

➢市場縮小の影響を受け、受注が減少

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

海外売上高



	対前期　増減
海外売上高	+501百万円　（+14.9%）
国内売上高	+435百万円　（+31.0%）

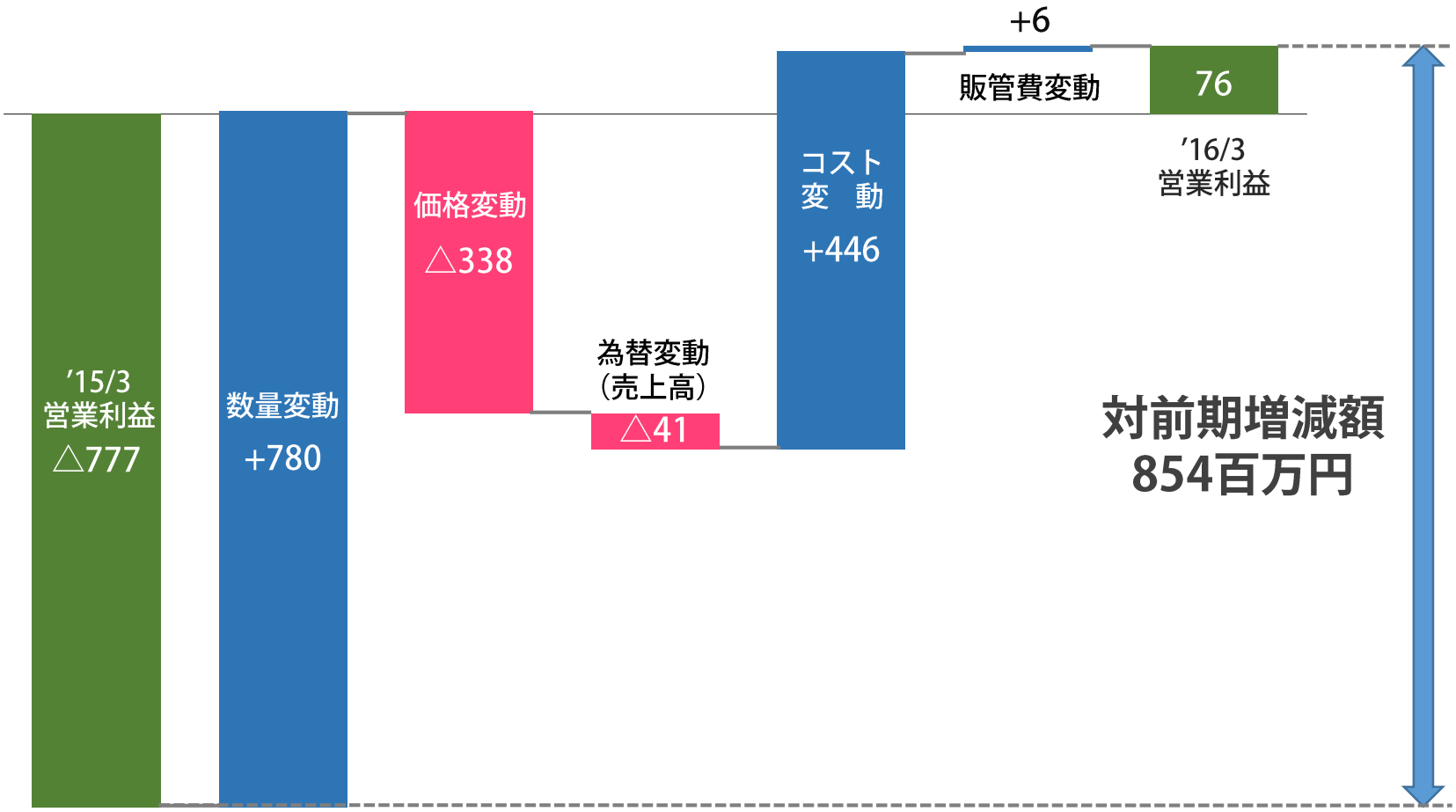
＜増減要因＞

➢海外、国内ともにスマートフォン向けが増加

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

営業利益増減要因

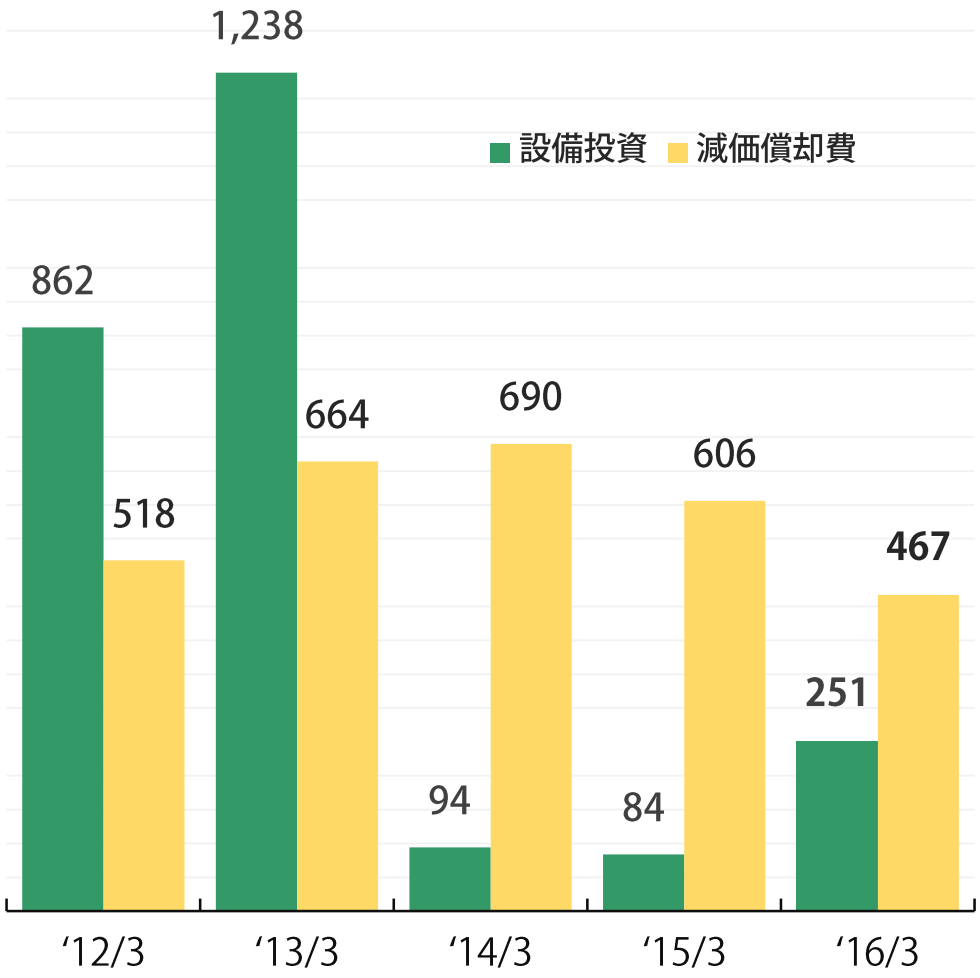
（単位：百万円）



Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

設備投資及び減価償却費

（単位：百万円）



➢ 当期は新製品の生産増強を中心に251百万の投資を実施

➢投資効率優先で圧縮を行ったことにより減価償却費が減少

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

キャッシュ・フロー計算書

RIVER
One and Only Creator

（単位：百万円）

営業活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ

税金等調整前純利益	+48
減価償却費	＋467
売上債権の増加額	△129
たな卸資産の減少額	+75
仕入債務の増加額	+109

投資活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ

定期預金の預入による支出	△946
定期預金の払戻による収入	＋947
有形固定資産の取得による支出	△84

財務活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ

短期借入金の純減額	△132
長期借入れによる収入	+600
長期借入金の返済による支出	△782
長期未払金の返済による支出	△74

フリーキャッシュ・フロー：営業活動によるCF+投資活動によるCF

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

2. 2017年３月期 通期業績予想
および今後の取り組みについて

代表取締役社長　若尾　富士男

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

環境認識

事業環境	➢ 企業収益の改善、雇用・所得の改善により緩やかな景気回復傾向にあるが、欧州や新興国の景気下振れリスクが顕在化 ➢ スマートフォン市場は成長が鈍化するも、高機能化は継続 ➢ IoT、自動車向けに無線通信分野の需要が拡大傾向
業績見通し	➢ スマートフォン市場は、前半の生産調整等による影響を受けるものの、上半期後半から新モデル向けの需要が伸び売上に貢献 ➢ IoT機器に繋がるデバイス数が拡大、通信分野の水晶需要が増加

（当社推定）

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

2017年3月期　通期連結業績予想

RIVER
One and Only Creator

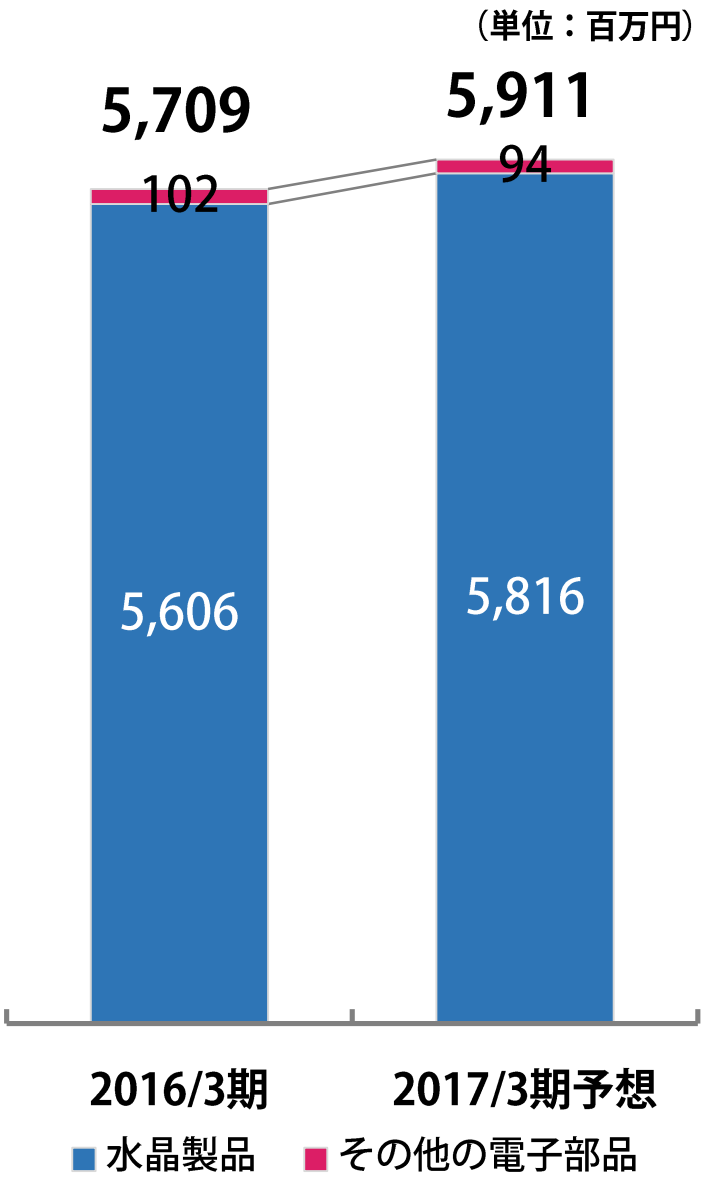
➢ 対前期増収を見込む。また、グループを挙げた利益改善を推進し、2期連続の増益を目指す

（単位：百万円）

	’16/3 実績	’17/3 予想 (’16/5/12)	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	5,709	**5,911**	202	3.5%
営業利益	76	**107**	31	41.5%
経常利益	62	**99**	37	60.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	35	**88**	53	148.6%
EPS（1株当たり利益）	4.81	**11.97円**	7.16	―

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

2017年3月期 セグメント別売上高



■ 水晶製品

（対前年比＋210百万円）

前期後半からの生産調整等による影響を受けるものの、上半期後半から新モデル向けの需要が伸びて売上に貢献し、前期比3.5%増

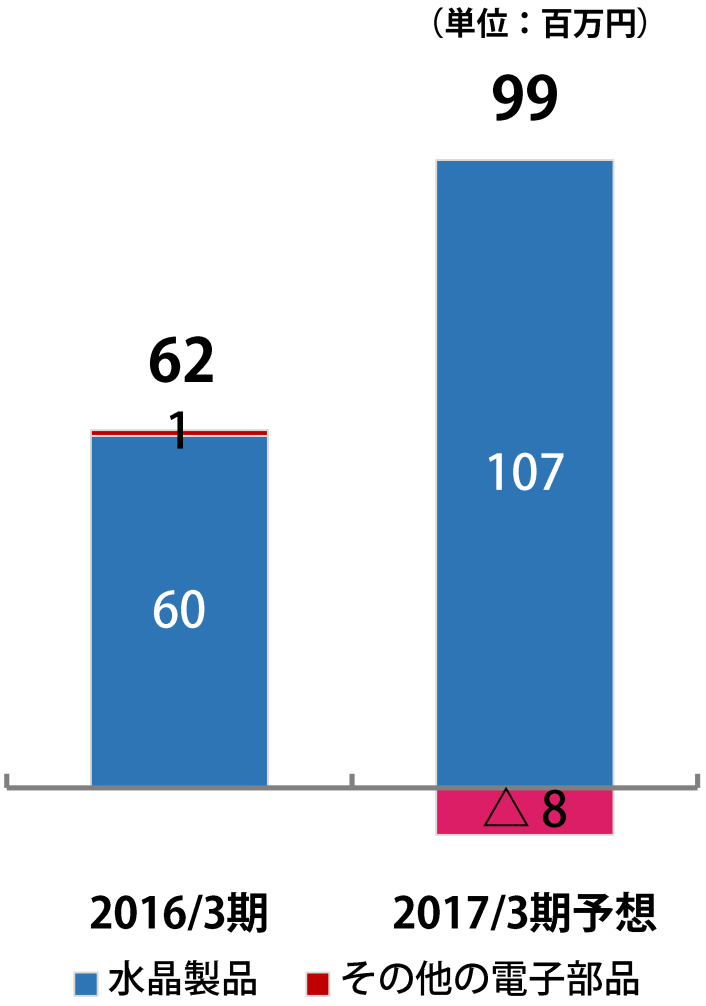
■ その他の電子部品

（対前年度比△8百万円）

インダクタの生産終了に伴い減少

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

2017年3月期 セグメント別利益



■ 水晶製品

（対前年比＋47百万円）

販売価格下落の影響等で原価率は上昇するが、
売上高の増加が固定費回収に貢献して黒字化

■ その他の電子部品

（対前年度比△9百万円）

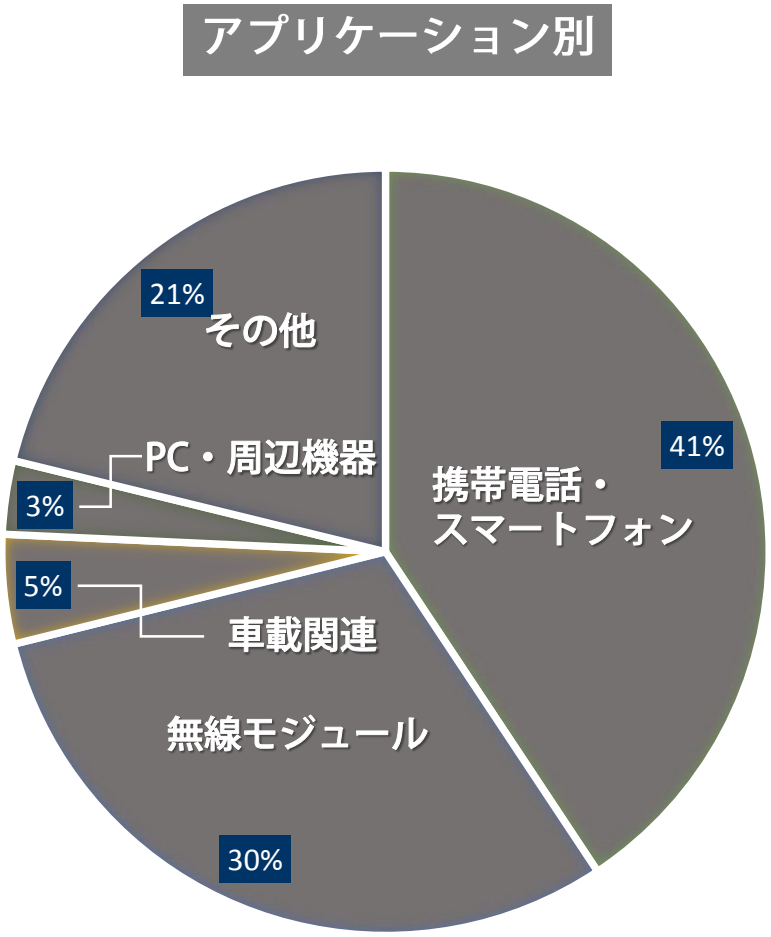
新規製品立上げコストの影響で減少

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

アプリケーション別売上高比率予想〈水晶製品〉

RIVER
One and Only Creator

上半期後半からスマートフォンのハイエンドモデルや無線モジュール向けの需要が伸びる

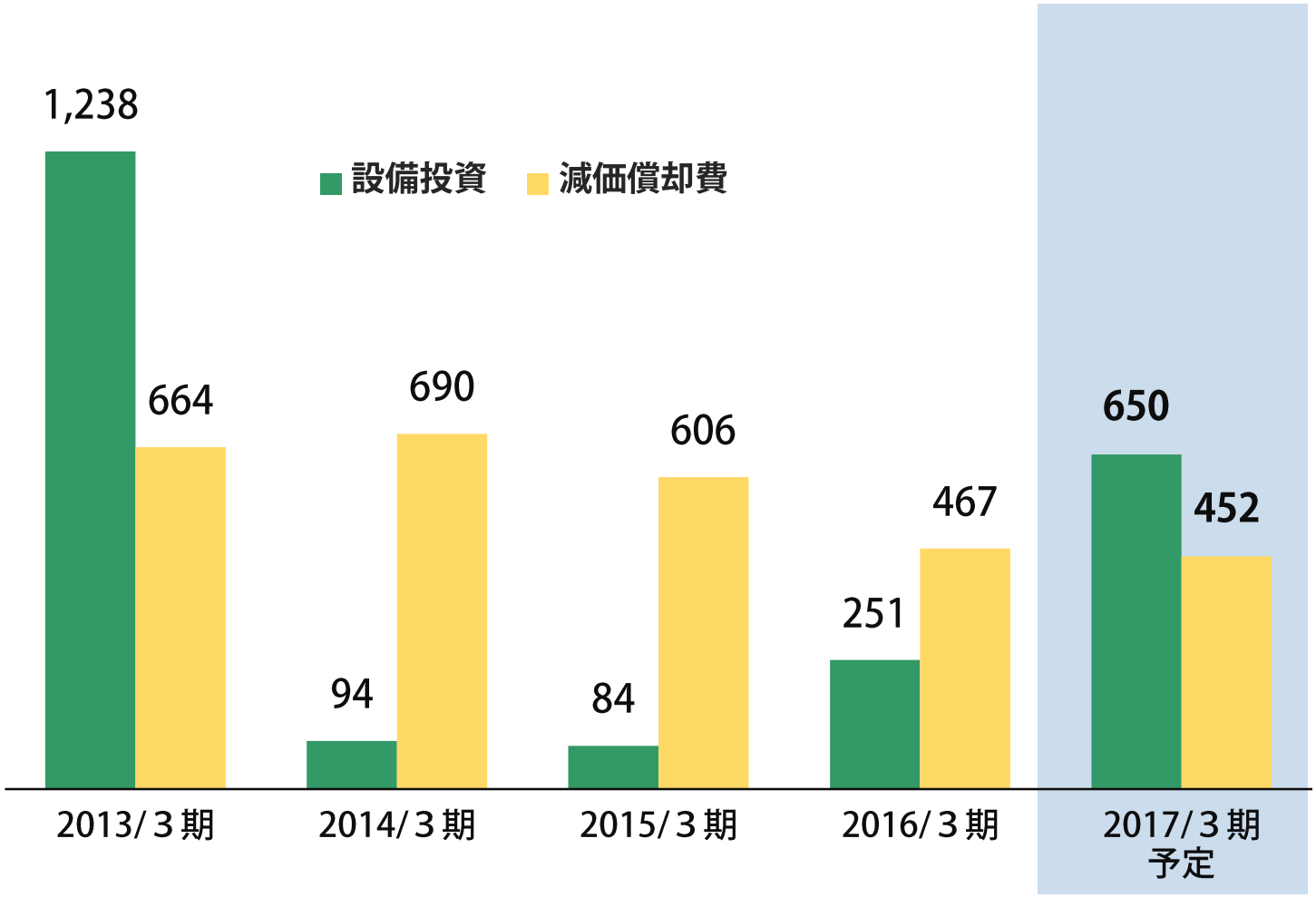


Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

設備投資及び減価償却

2017年3月期は、新製品の量産対応と新規技術の確立を軸とした成長戦略への投資を推進し、中長期的な収益に繋げる

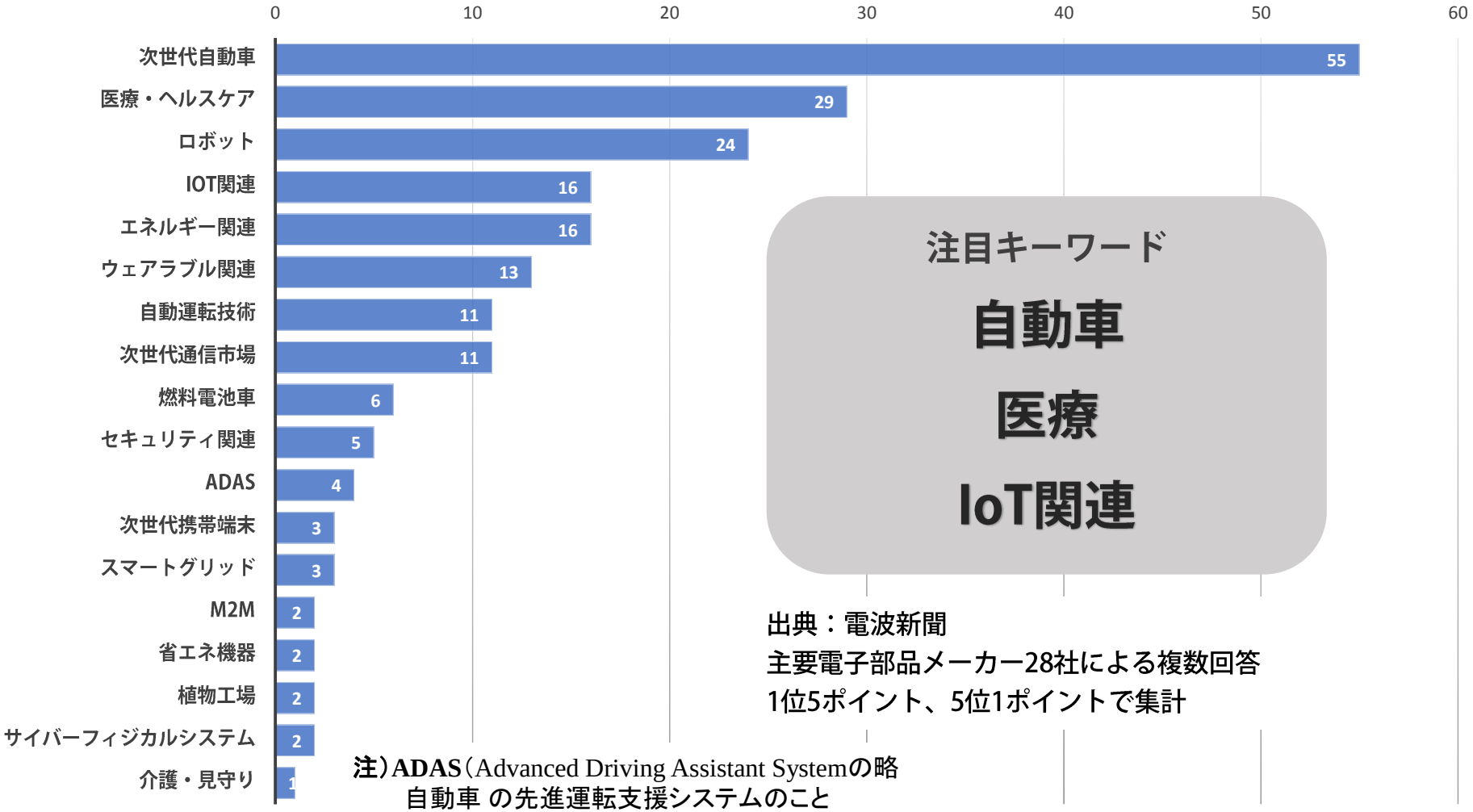
（単位：百万円）



Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

事業ポートフォリオの変革

10年後の2026年に電子部品需要の新たな牽引役になっていると予想される新規マーケット



注目キーワード

自動車

医療

IoT関連

出典：電波新聞
主要電子部品メーカー28社による複数回答
1位5ポイント、5位1ポイントで集計

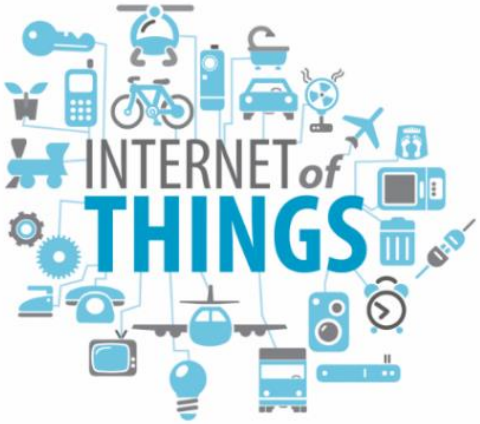
注）**ADAS**（Advanced Driving Assistant Systemの略
自動車 の先進運転支援システムのこと

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

事業ポートフォリオの変革

RIVER
One and Only Creator

IoT市場



10年後は1兆個のマーケットと見込まれるIot市場。
引き続きウェアラブル系の他、医療・ヘルスケア
などの分野を開拓していく

当社の強みが発揮できる領域

小型・薄型・省電力

＋

細やかなユーザーフォロー
（設計支援）

ウェアラブルメガネのイメージ
通信モジュール部分に使われる

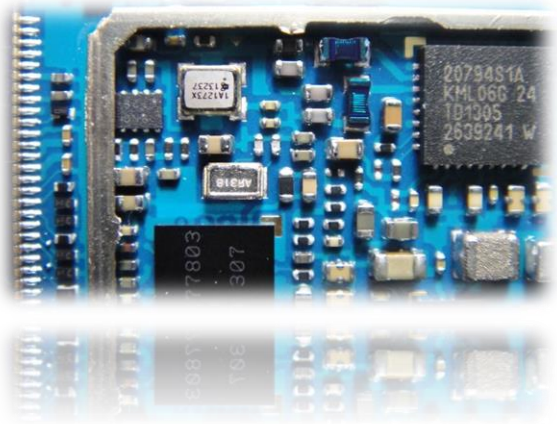
Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

車載用電子機器(ECU)市場

自動車の電子制御化やIoT化の進展に伴い、ECUの世界規模は2020年に約30兆円と、 2012年の約18兆円から1.6倍以上に拡大する見込み

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

デザイン・イン



欧州、米国を中心にデザイン・イン活動の強化を図ると共に顧客の設計段階からコミュニケーションを取って最適な情報を提供していく

音叉型、ATカット水晶

Lamb波、GTカット水晶

UnderDevelopment…

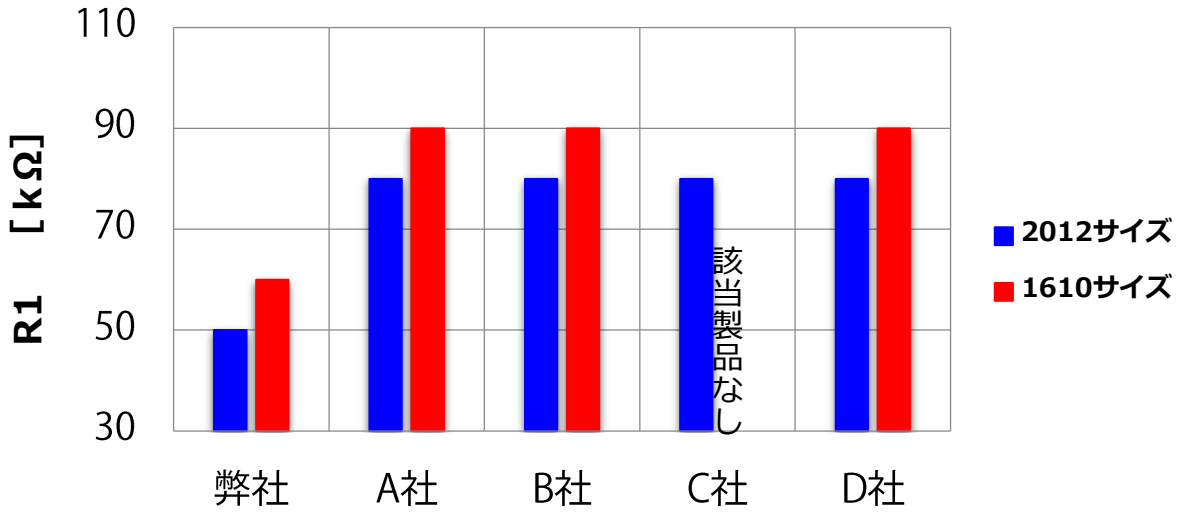
中長期的な新製品の開発動向のほか、技術面の情報なども提供して設計を支援する

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

重点施策①　新コア技術の創生による製品開発の推進

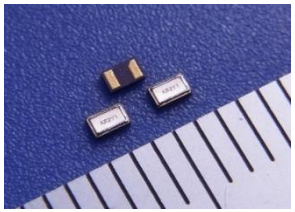
RIVER One and Only Creator

TFX-04・TFX-03Lにおいて、R1の業界最小値（低損失）を実現



製品の特長

- TFX-04は、世界最小の1610サイズ（1.6 x 1.0 x 0.5 mm Max）
- TFX-03Lは、 2012サイズの低背化（2.0 x 1.2 x 0.35 mm Max）
- 当社フォトリソグラフィの微細加工技術で、1μmの加工技術を確立。
- 業界トップレベルの低R1値60kΩ（低損失）と耐衝撃性を実現



当社の強みである、製品の小型化と細かな設計支援でお客様ニーズにお応えする

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

重点施策②　新コア技術の創生による製品開発の推進

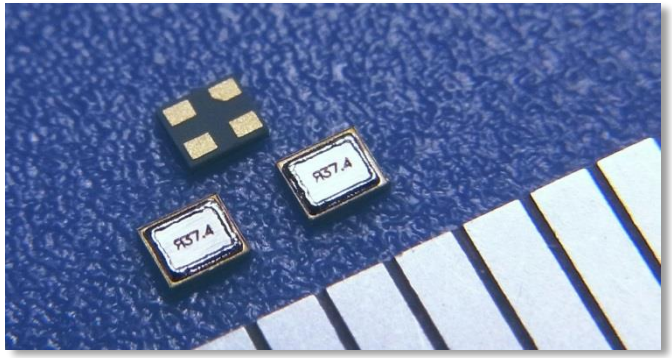
RIVER One and Only Creator

世界最小のATカット水晶振動子の量産化

製品の特長

- 世界最小の小型・軽量設計　1.2 x 1.0 x 0.33 mm Max 1.4mg (世界最小の1210サイズ)
- セラミックと金属蓋を電子ビーム封止によりトップクラスの高信頼性を確保。
- 幅広い動作温度範囲が要求される車載向け認証基準のAEC-Q200に準拠
- 周波数偏差を標準で±7ppmまで対応

近距離無専用モジュール、ウェアラブル機器、
小型医療機器などの需要拡大が見込まれる



New!

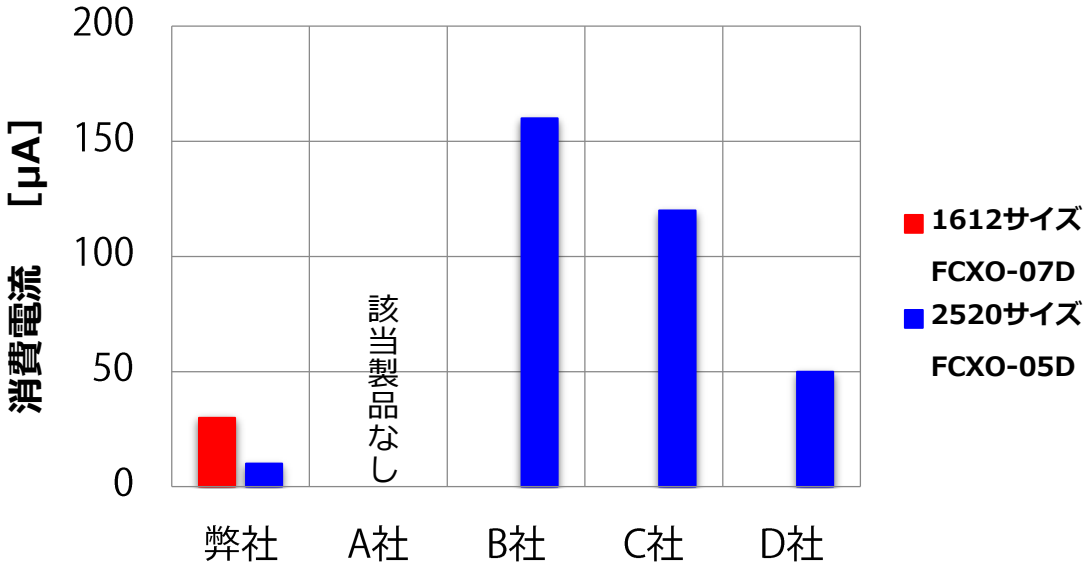
FCX-08

1.2㎜×1.0㎜×0.33㎜ max.

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

重点施策③　新コア技術の創生による製品開発の推進

水晶発振器Dシリーズにおいて業界最小の低消費電流を実現



製品の特長

- FCXO-07Dは世界最小の水晶発振器（1.6 x 1.2 x 0.7 mm Max）
- 技術要素として低CIのブランク設計と最新のICを採用
- 最適な水晶片設計と最新ICで、業界最小サイズでの量産は当社のみ

ウェアラブル機器やIot関連機器など様々な低消費電力用途に向けて量産対応

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

配当金の推移

RIVER
One and Only Creator

配当による還元を第一とし、配当性向20%以上（対連結当期純利益）を最低の目安とした安定的な配当を継続的に行うことに努めます

	2013/3期 実績	2014/3期 実績	2015/3期 実績	2016/3期 実績	2017/3期 予想
1株当たり配当金	3.00円	3.00円	―	1.50円	1.50円
（うち1株当たり中間配当金）	（1.00円）	（1.00円）	―	―	―
配当性向（対連結当期純利益）	19.7%	19.6%	―	31.2%	12.5%

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.

RIVER
One and Only Creator

本資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などの記載は、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。
実際の業績はこれらと異なる結果となる場合がありますので、これらの業績見通しに過度に依存されないようお願いいたします。
実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景気動向、為替変動、当社の事業領域に関連する技術革新や需要変動、当社の開発・生産能力、などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。
本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。
投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願いいたします。

ＩＲに関するお問い合わせ先

総務部経営企画課
http://www.river-ele.co.jp/faq/faq03.html

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved.